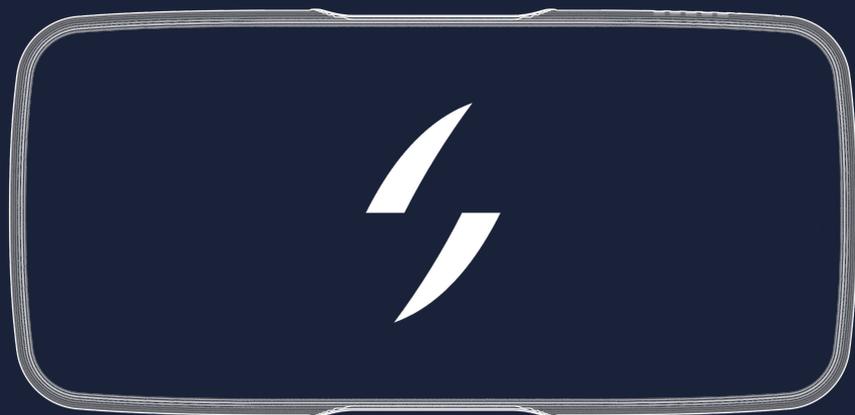


# 使用 説明書



 swytch

お手持ちのアクセサリは？  
スキャンして説明書をご覧ください。

[www.swytchbike.com/help/manuals/](http://www.swytchbike.com/help/manuals/)



# 安全に関する警告

Swytch電動アシストキットを安全にお使いいただくため、以下のガイドラインに従ってください：

## 目的とする用途

Swytchキットは、道路や舗装の行き届いた路面用に設計されています。10cm以上の段差からのドロップオフ、スタント、クロスカントリー、エクストリームスポーツには適していません。間違った使い方をすると、一部の部品の故障につながり、保証が無効になることがあります。電源パックが強い衝撃を受けた場合、Swytch担当者から安全性の確認を得ずにキットで走行を続けることはおやめください。本製品は、お住まいの地域の法律・法令を遵守してご使用ください。

## 充電器に関する警告

電源パックはご家庭で安全に使用できますが、充電器とバッテリーを接続すると徐々に温度が上昇します。これは自然なことです。AIR/GO電源パックの充電には、旧型充電器を使用しないでください。それで保証が無効になります。電源パックを必要以上に長時間充電中のまま放置しないでください。バッテリー寿命が短くなる可能性があります。充電中は、換気を十分にしてください。

**ご注意:** アップグレードキットにはプラグが付属していません。

旧型キットからプラグをリサイクルして、新しい充電ブロックと一緒に使用することができます。

## 電源パックに関する警告

キットが届いたら、すぐに電源パックを充電してください。電源パックの充電には、付属のSwytch充電器のみをご使用ください。保管中の電源パックは90日ごとに充電してください。怪我や破損の危険を減らすため、使用説明書全体をよくお読みください。

この電源パックは、気温が-10°C以下または40°C以上の場所に置かないでください。バッテリーには危険物質が含まれていますので、分解したり、衝撃を与えたり、水に浸したりしないでください。

充電器以外の金属や導電性の物体を一切充電ポートに差し込まないでください。感電、火災、その他の怪我の原因になることがあります。充電ポートに水や氷が入ったり結露したりした場合は、充電器を接続しないでください。

## マウントに関する警告

ハンドルバーに装着したマウントの取っ手は、電源パックと完全に咬み合わなければなりません。電源パックが正しく動作するには、マウントと完全に接続しなければなりません。電源パックは、ロゴを前方に向けて黄色のコネクターが上向きになるよう、垂直にマウント内側に固定する必要があります。

## モーターホイールに関する警告

カーボンファイバーなどの弱い／細いフォークの場合、フォークを損傷せずに安全にモーターのトルクを伝達するため、トルクワッシャーに加えてトルクアームが必要になる場合があります。

アクスルをフォークに取り付けるときは、しっかりフィットするよう固定します。少しでも動くように感じたり、アクスルがフォークにしっかりとまらなかつたりする場合は、必ず弊社サポートチームにご連絡ください。

**Swytch Bike公認担当者の同意を得ずに改造しようとすることは絶対におやめください。**

### 走行前にネジ等を締め付ける

初めての走行でも、100回目の走行でも、道路に出る前にすべてのナット、ネジ、ボルトが固く締まっていることを確認してください。部品に一か所でも緩みがあると、走行中にモーターホイールが外れることがあります。どうぞご注意ください。

100km走行するたびに、ホイールのスポークネジが固く締まっているかどうかチェックし、ホイールが安定していることを確認してください。さらに詳しくは、デジタルマニュアルのメンテナンスの項目をご参照ください。

### 自転車のメンテナンス

どんな自転車でも、安全に走行するためにはよく整備し、正しく動作する状態でなければなりません。定期的に自転車のコンディションをチェックして整備してください。

### スペア部品

安全上最も重要なコンポーネントには、純正交換部品のみを使用してください。

Swytchキットには、消耗品や潤滑剤は必要ありません。サードパーティの交換部品を使用すると、保証が無効になります。スペア部品の詳細については、弊社サポートチームにお問い合わせいただくか、[shop.swytchbike.com](http://shop.swytchbike.com)で追加商品をご購入ください。

### 警告

マニュアル全体を通して、このような吹き出しがある場合、安全上の指示に従わないと重大な傷害や深刻な物的損害、死亡事故などを引き起こす可能性があることを警告します。



### お問い合わせ

Swytch Bikeで初めて走行する前に、正しく組み立ててあることをご確認ください。

ヘルプやサポートがさらに必要な場合、[support.swytchbike.com](http://support.swytchbike.com) で弊社ヘルプセンターをご利用ください。

**EPAC規格の要件に従い、Swytchキットが発する騒音 (A特性音圧レベル) は70 dB(A)を超えません。**

# 目次

## 1

### はじめに

---

キット内容のチェック	7
必要な工具類	8

## 2

### 取付・装着

---

モーターホイール	10
ペダルセンサー	16
マウント	36
電源パック	41

## 3

### 自分のキットを理解する

---

走行を始める	44
充電	45
メンテナンス	46

# 1

## はじめに

キット内容のチェック

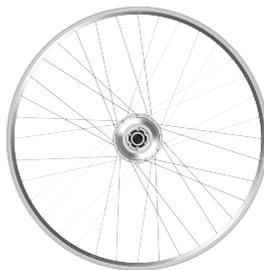
必要な工具類

# キット内容のチェック

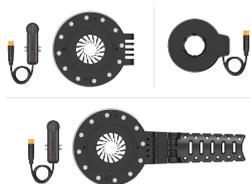
作業を始める前に、このリストですべての部品を準備します。



電源パック



モーターホイール



ペダルセンサー  
(選択したオプション)



2A充電器



マウント  
(3種類のスペーサーセット付属)



ケーブル縛り紐

\*オプションの付属品は記載しませんのでご注意ください。

## 必要な工具類

キットの取り付けには以下の工具が必要です。これらは付属していませんのでご注意ください。



六角棒レンチ(アーレンキー)セット



タイヤレバー



自転車用空気入れ



調整式スパナ(モンキーレンチ)



測定定規



ハサミ

# 2

## 取付・装着

モーターホイール

ペダルセンサー

マウント



## モーターホイール



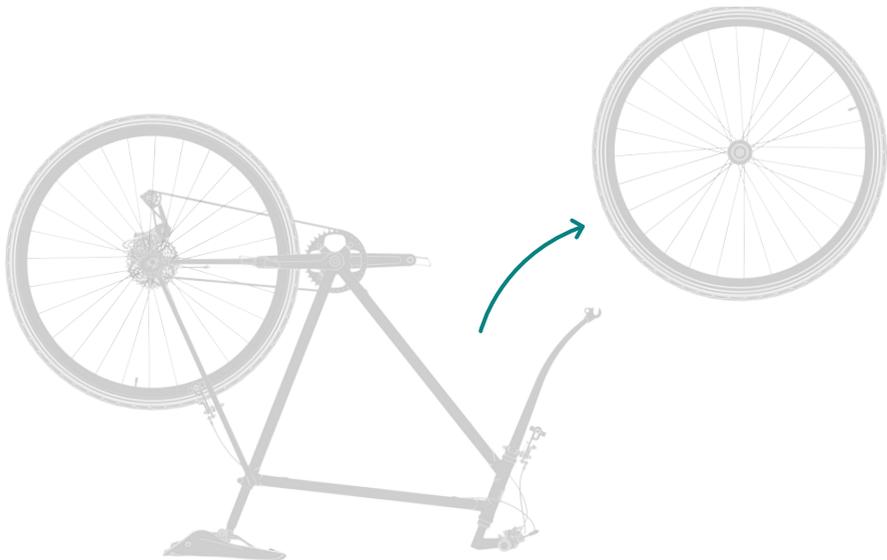
Swytchモーターホイールはご指定のサイズで製造し、自転車の動力となる250Wモーターハブを組み込んであります。フォークにしっかりと安全にはめ込むことが重要です。

### 1. 既存の前輪を取り外す

- 1.1 自転車を上下逆さまにして置きます。ブレーキを解放し、前輪を緩めて取り外します。

#### ご注意

この手順は、お手持ちの自転車のブランドや種類によって異なります。ご不明な点があれば、自転車メーカーの説明書をご参照ください。



## 2. Swytchモーターホイールを準備する

2.1 Swytchモーターホイールに、タイヤとチューブを取り付けます。タイヤチューブセットは、お手持ちの品でも新品(推奨)でもかまいません。

タイヤレバーが役立ちます。



2.2 メーカーの推奨する空気圧に従い、タイヤに空気を入れます。これはタイヤ側面に記載されています。

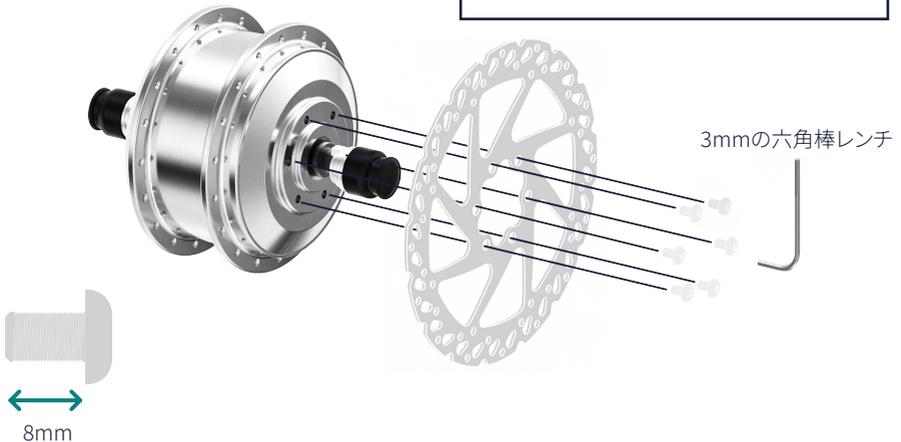


2.3 ディスクブレーキの場合は、モーターホイールから6本のネジとプラスチックのスペーサーを取り外します。

2.4 ディスクローターを古いホイールから外し、Swtchモーターホイールに取り付けます。

2.5 既存のネジとハードウェアをご使用ください。ネジ長8mmのネジが必要です。

締付トルクは、必ず2~3Nmに設定してください。  
サポートには、マニュアルの [swytch-bike.com/manual/3nm/](http://swytch-bike.com/manual/3nm/) をご利用ください。



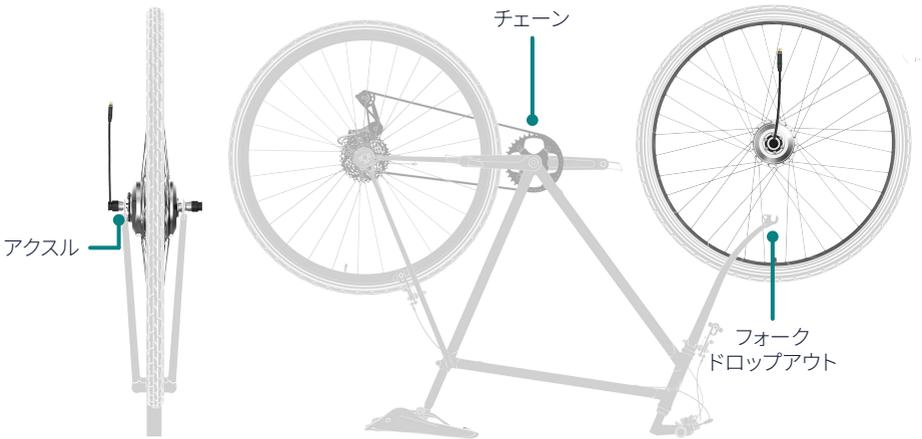
### 3. Swytchモーターホイールを自転車に取り付ける

- 3.1 ネジを少し緩め、Swtchモーターホイールをフォークのドロップアウトエンドに差し込みます。

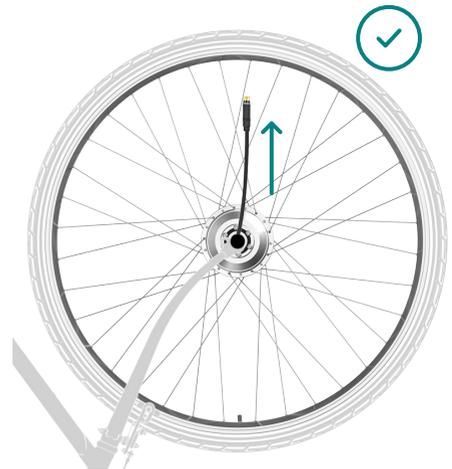
もしアクスルとフォークの間に隙間があったり、しっかりフィットしなかったりする場合は、弊社チームにサポートを依頼してください。

 モーターケーブルは、チェーンと反対の側に設置しなければなりません。

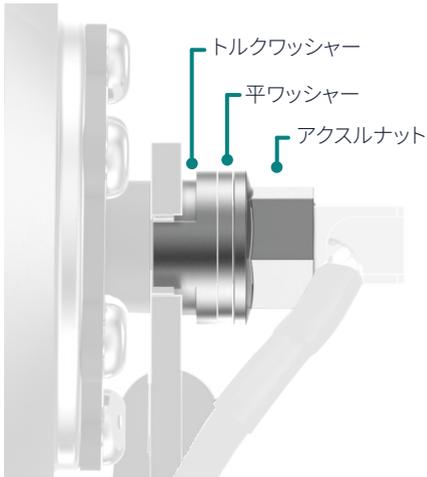
 モーターホイールがフィットするよう、フォークにヤスリをかけることはおやめください。対処のオプションはチームにお問い合わせください。



 自転車を上下逆さまに置いたとき、モーターケーブルは必ずモーターから上空方向に突き出していなければなりません。



- 3.2 図に従い、トルクワッシャー、平ワッシャー、アクスルナットを**自転車両側**に取り付けます。自転車フォークのドロップアウトは、トルクワッシャーのリップ部の周囲にぴったりフィットする必要があります。



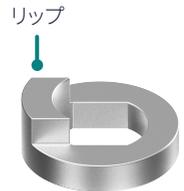
### ご注意

ホイールサイズに応じて、9mmまたは10mmのトルクワッシャーをお届けします。

9mm  
トルクワッシャー



10mm  
トルクワッシャー

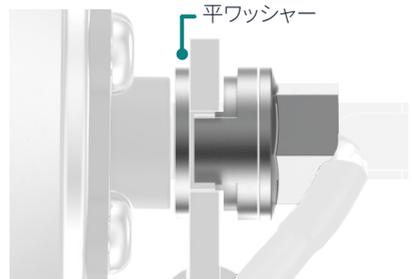


## モーターホイールが正しくフィットしない場合は？

モーターのケース部分がフォークに接触していないかどうか確認します。接触していれば、フォークの内側に平ワッシャーを追加して間隔を広げます。

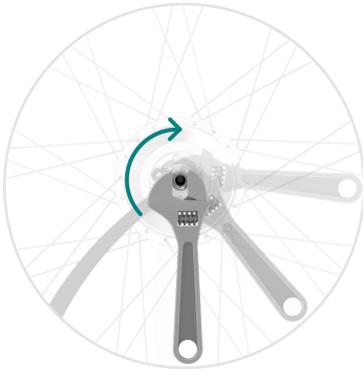
または、平ワッシャーの代わりにトルクワッシャーをフォーク内側に移動します。

トルクワッシャーがフォークを押し出すので、フォークをトルクワッシャーに固定するために少し力を加える必要があるかもしれません。

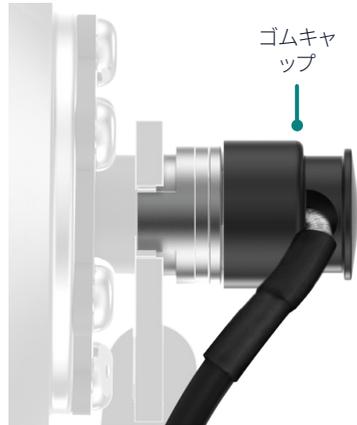


## 4. Swytchモーターホイールを締め付ける

- 4.1 スパナでモーターホイール両側のナットを締め付けます。そのため、ゴムキャップを一時取り外す必要があります。
- 4.2 ゴムのカバーを再びモーター両側のナットに装着します。



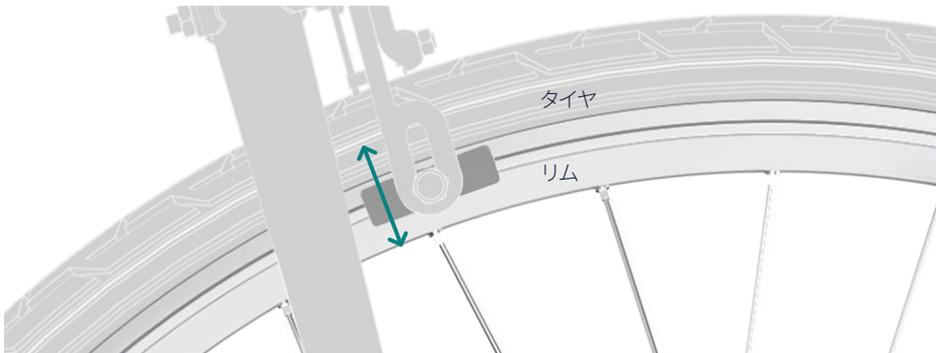
締め付トルクは、必ず45Nmに設定してください。  
サポートには、マニュアルの [swytchbike.com/manual/45nm/](http://swytchbike.com/manual/45nm/) をご利用ください。



## 5. ブレーキのチェックと調整 (必要な場合)

- 5.1 自転車を上下逆さまに置きます。
- 5.2 リムブレーキの場合、パッドが新しいリムに正しく接触するかどうか確認します。ブレーキパッドは、タイヤではなくリムの方に触れることが必要です。

ブレーキの調整は、自転車メーカーの指示に従ってください。  
ご自分でブレーキを調整するのが不安な場合は、[swytchbike.com/manual/adjustbrakes/](http://swytchbike.com/manual/adjustbrakes/) でサポートをご利用ください。



## 6. モーターホイールのチェック

- 6.1 自転車のフロントを地面から持ち上げ、モーターホイールを手で回します。ホイールは自由に回転する必要があります。



カーボンファイバーなどの弱いフォークの場合、フォークを損傷せず安全にモーターのトルクを伝達するため、トルクワッシャーに加えてトルクアームが必要になる場合があります。



アクスルをフォークに差し込む際、ぴったりとはめ込まれたことを確認します。少しでも緩みがある、またはフィットに問題がある場合は、弊社サポートチームにご連絡ください。Swytch Bike担当者の承認を受けずに改造することはおやめください。



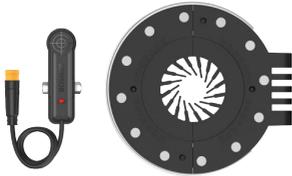
## ペダルセンサー

このセンサーはペダリングの検知に使用します。

ご注文ポータルで選択したペダルセンサーのオプションによって異なります。下の表で、適切な指示・説明のページを確認してください。

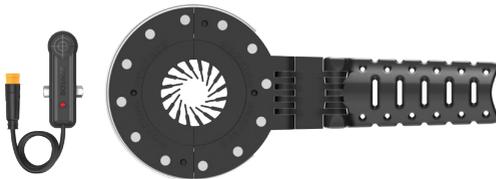
### 標準ペダルセンサー

17ページ (次ページ)



### 汎用ペダルセンサー

23ページ



### 一体型ペダルセンサー

32ページ



## 標準ペダルセンサー



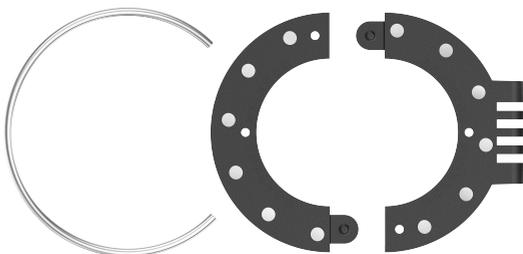
標準的な2ピースの磁気ディスクで、大部分の標準的なクランク(例:スクエアテーパー)とペダルセンサーに適しています。

### 内容:

ペダルセンサー:



磁気ディスク:

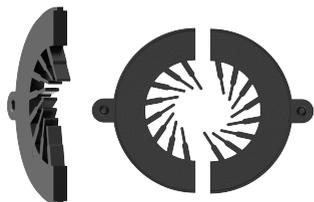


固定リング

磁気ディスク

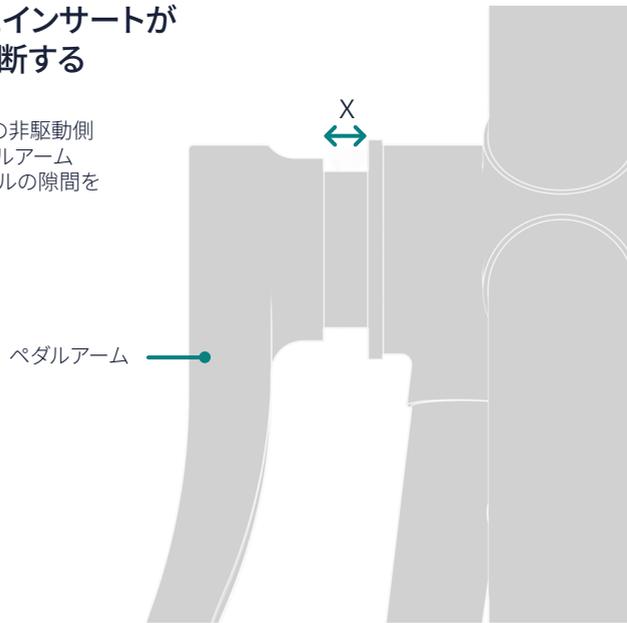
付属インサート:

イージーフィット標準インサート(2個)



# 1. ご自分の自転車にインサートが必要かどうかを判断する

- 1.1 測定定規を使って、自転車の非駆動側（チェーンと反対側）のペダルアーム縁端とボトムブラケットシェルとの隙間を測ります。



# 2. 以下の表をご確認ください。

- 2.1 この表で計算して、ご自分の自転車に必要な構成を判断してください。

**ご注意**  
 隙間が4mm以下の場合、汎用センサーのご注文が必要かもしれません。サポートにご連絡ください。

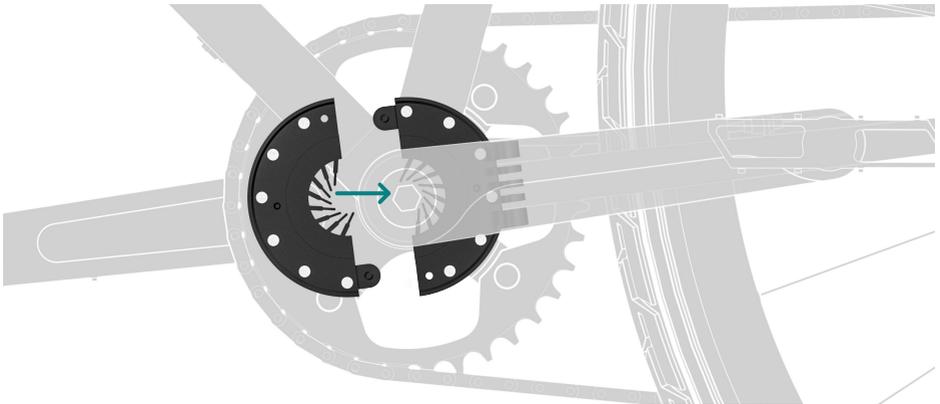
x - ペダルアームとボトムブラケットシェルの間隔	構成
2mm以下	イージーフィット標準インサートをお試しください。サイズが合わない場合は、サポートにご連絡ください。
2mm～4mm	イージーフィット標準インサートをお試しください。サイズが合わない場合は、サポートにご連絡ください。
4mm以上	磁気ディスクおよびイージーフィット標準インサート 

### 3. 磁気ディスクを装着する

3.1 自転車のチェーンと反対側、ペダルアーム背後のクランク軸の周囲に磁気ディスクをはめ込みます。

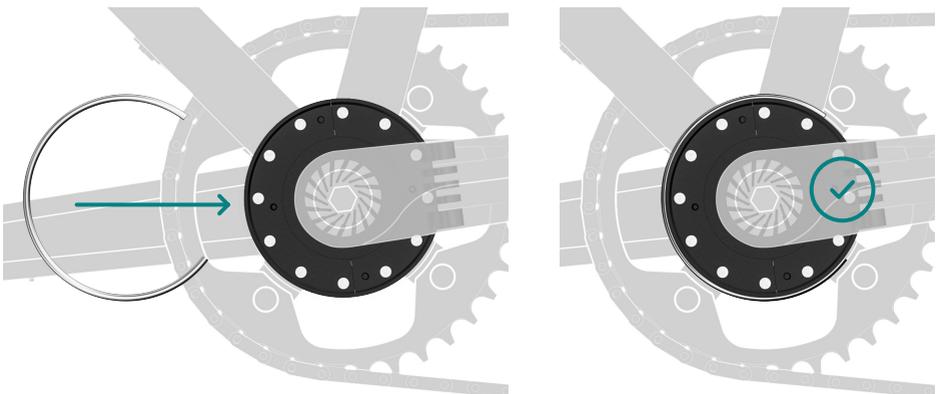
3.2 磁気ディスクの半円を2枚合わせ、パチンと音がするまで押し込んでぴったりフィットさせます。

ディスクの「Working Surface」(作業面)と印字された面が自転車のフレームに面していることを確認してください。



### 4. 固定リングを装着する

4.1 固定リングを磁気ディスクの周囲に滑り込ませ、2枚を安全に固定します。

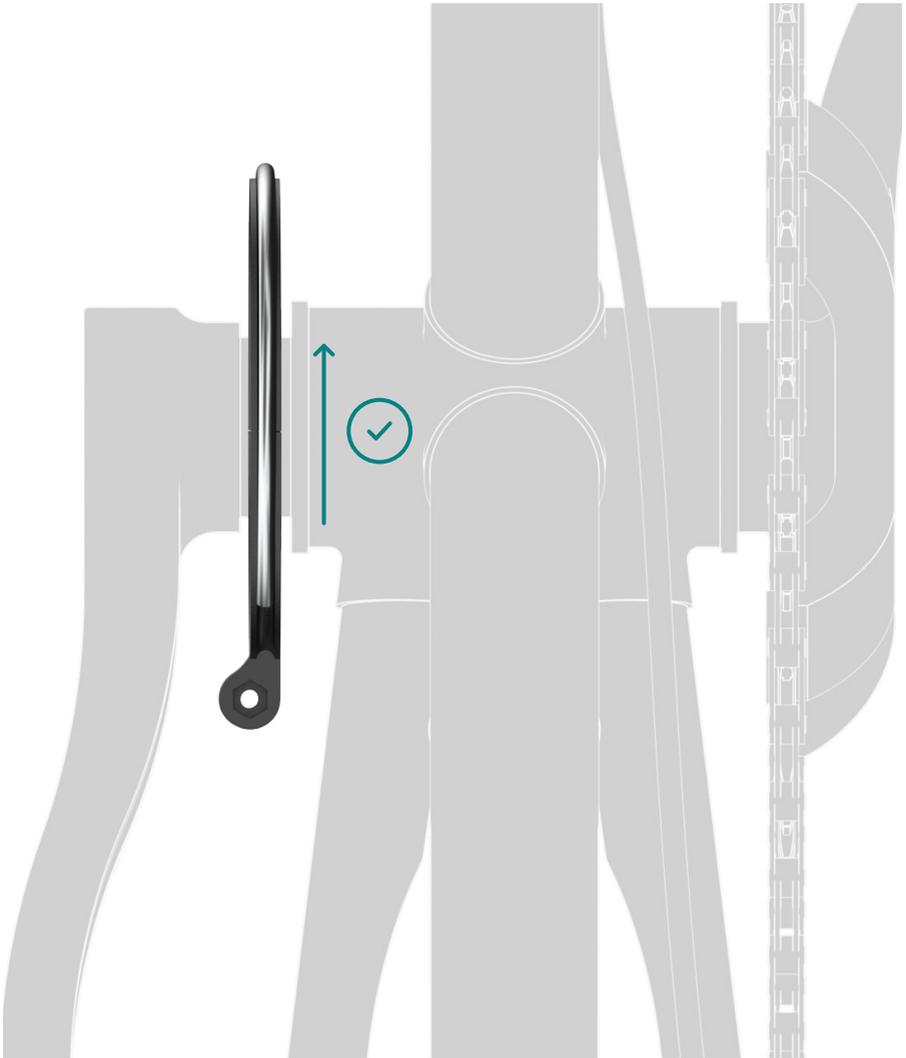


## 5. アライメントのチェック

- 5.1 磁気ディスクは、フレームに対して平行を保って動作する必要があります。ペダルアームを逆方向に回転してアライメントをチェックし、少しでも動きを生じるかどうか観察します。

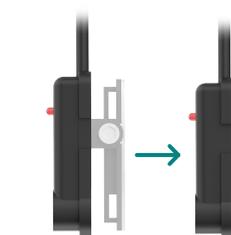
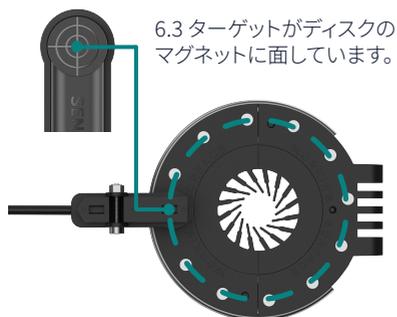
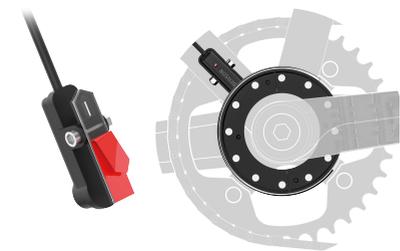
### ご注意

アームを回転させたときに磁気ディスクがズれる場合は、イーザーフィット標準インサートを使用するか、サポートに連絡して  
汎用ペダルセンサー用  
磁気ディスクをリクエストしてください。

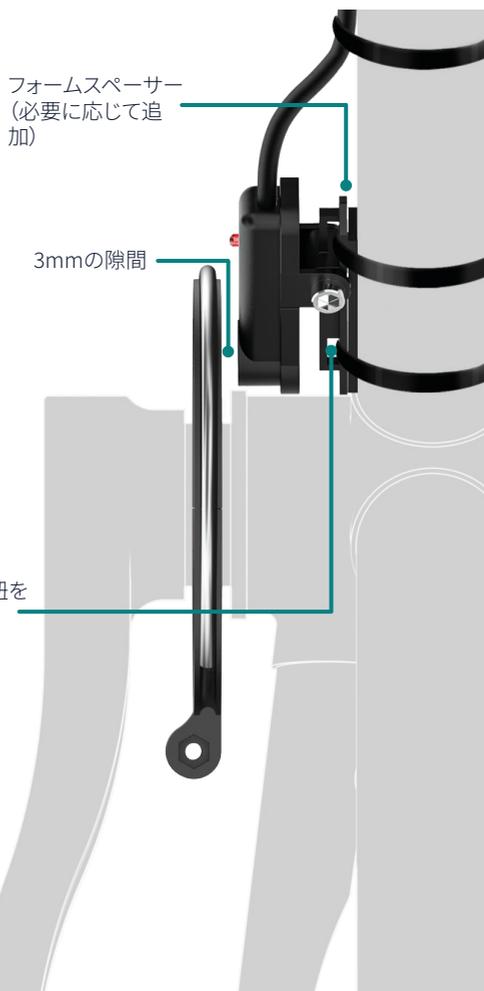


## 6. ペダルセンサーの位置決め、貼付と固定

- 6.1 赤いシールをはがし、ペダルセンサー裏側の粘着面を開きます。
- 6.2 ペダルセンサーをダウンチューブまたはシートチューブの側面に貼り付けます。
- 6.3 ペダルセンサー中央部の高さがディスクのマグネットと必ず一致するようにしてください。
- 6.4 センサーの位置が磁気ディスクから3mm以内になるよう、必要に応じて粘着フォームスペーサーを使用します。
- 6.5 ボルトを緩め、センサーの角度を調整してから締め付けてケーブル縛り紐で固定します。



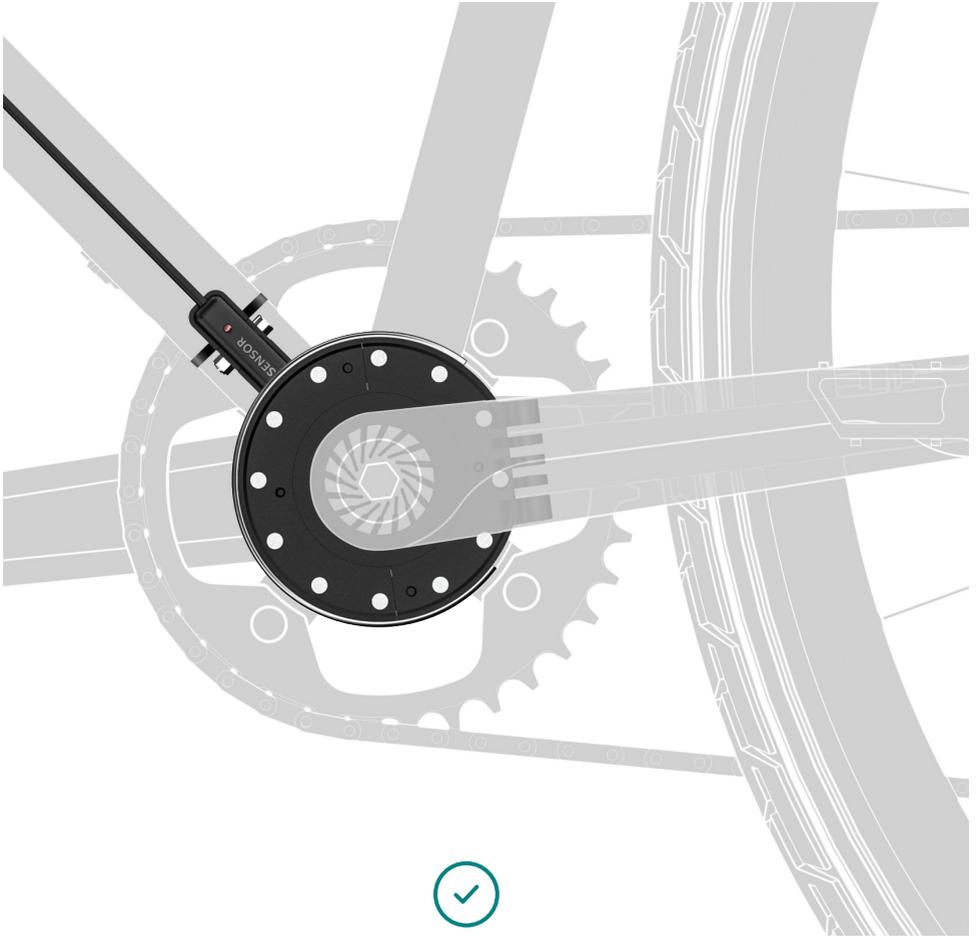
ケーブル縛り紐を通す位置



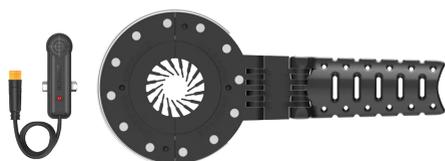
### ご注意

十分なスペースがない場合は、プラスチックのヒンジ部をセンサーから取り外し、ケーブル縛り紐で直接取り付けます。それで保証が無効になることはありません。

## 7. 終了



## 汎用ペダルセンサー



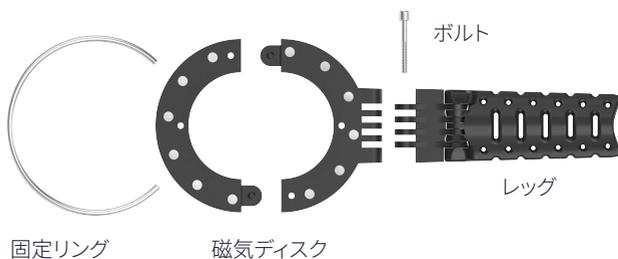
汎用の3ピース磁気ディスクとペダルセンサーであらゆるクランクに対応します。

### 内容：

ペダルセンサー：



標準磁気ディスク：



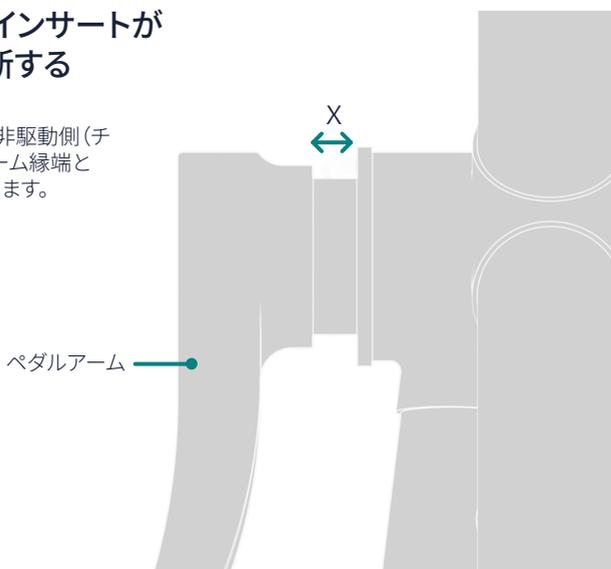
付属インサート：

イージーフィット標準インサート(2個)



# 1. ご自分の自転車にインサートが必要かどうかを判断する

- 1.1 測定定規を使って、自転車の非駆動側（チェーンと反対側）のペダルアーム縁端と自転車フレームの隙間を測ります。



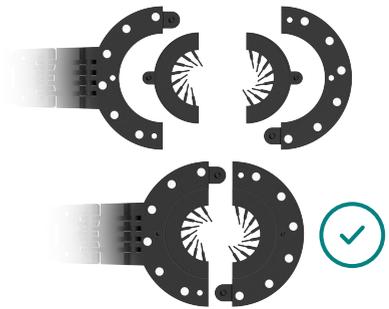
## 2. 以下の表をご確認ください。

- 2.1 この表で計算して、ご自分の自転車に必要な構成を判断してください。

x - ペダルアームとフレームの間隔	構成
4mm以下	標準磁気ディスクインサート <b>不使用</b> 
4mm以上	標準磁気ディスク <b>および</b> イージーフィット標準インサート 

### 3. 正しいインサートの装着 (必要に応じて)

- 3.1 インサートを磁気ディスクアームのメス部に合わせます。インサートはどちら向きでも使用できますが、図のように放射状の歯の方向が一致するようにしてください。



### 4. 磁気ディスクのレッグを反転する 必要があるかどうかを判断する

- 4.1 ご自分の自転車のペダルアームが以下の2種類のどちらかを確認します。

#### A. 丸型または平型ペダルアーム

ペダルアーム裏側が平坦、または丸みを帯びています。

磁気ディスクのレッグは、図のように丸型または平型のペダルアーム (A) に取り付けられるようになっていますので、**ステップ6**に移動してください。



#### B. 凹型ペダルアーム

ペダルアーム裏側に凹型のくぼみがあります。

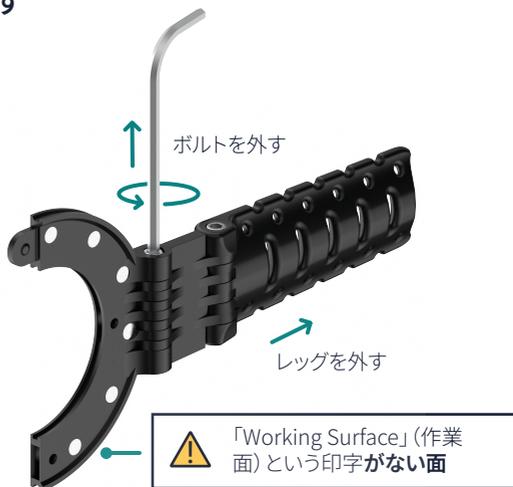
よりよくフィットさせる方法については、次ページの**ステップ5**をご覧ください。



## 5. 磁気ディスクのレッグを裏返す

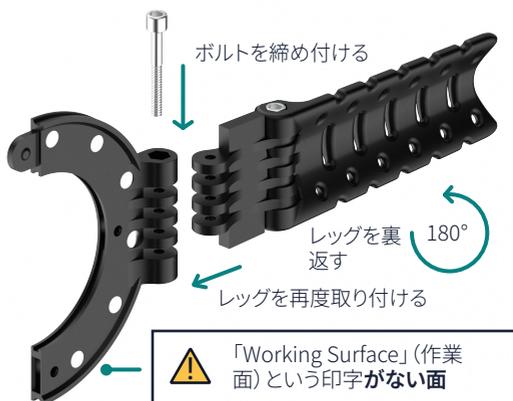
### (凹型ペダルアームのみ)

- 5.1 2.5mmの六角棒レンチでボルトを緩めま  
す。ボルトとレッグを取り外します。



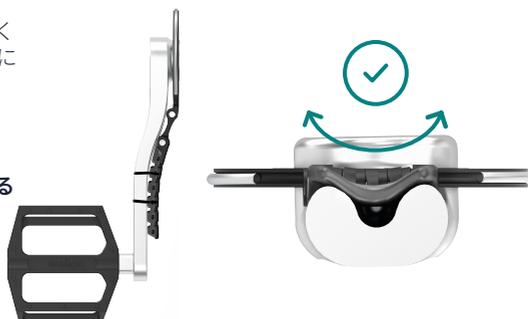
- 5.2 図に一致するよう、レッグを  
180度反転して裏返します。

- 5.3 もう一度レッグを取り付け、ボルト  
を締め付けます。



- 5.4 レッグの輪郭がペダルアームの凹型のく  
ぼみと重なり、よりよくフィットするよう  
になったことを確認してください。

これで磁気ディスクを自転車に装着する  
準備ができました。



## 6. 磁気ディスクを装着する

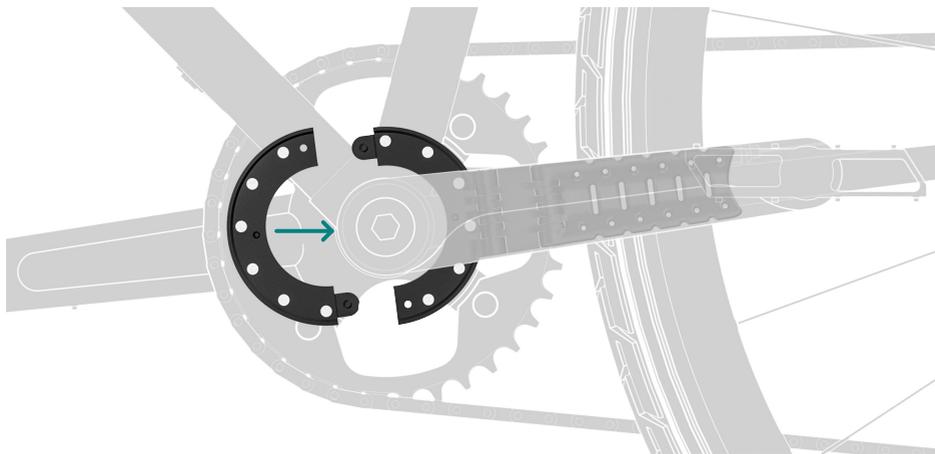
6.1 自転車のチェーンと反対側、ペダルアーム背後のクランク軸の周囲に磁気ディスクをはめ込みます。

ディスクの「Working Surface」(作業面)と印字された面が自転車のフレームに面していることを確認してください。

6.2 磁気ディスクの半円2枚を合わせ、パチンと音がするまで押し込みます。

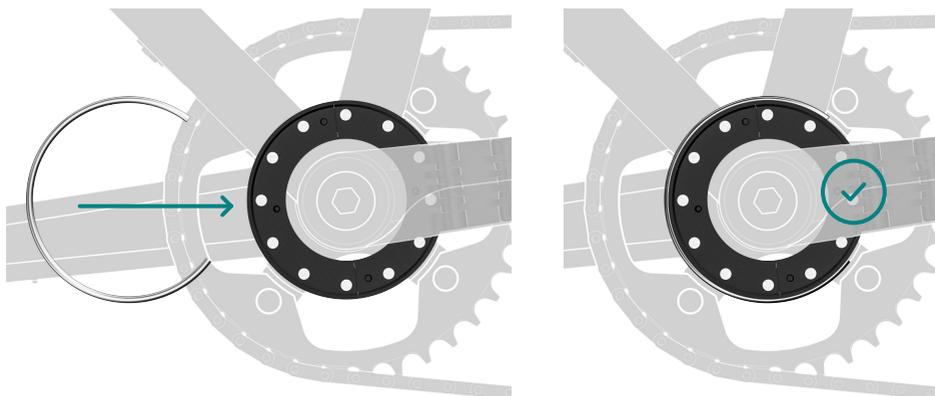
### ご注意

インサートを使用する場合は、前記の指示に従ってください。



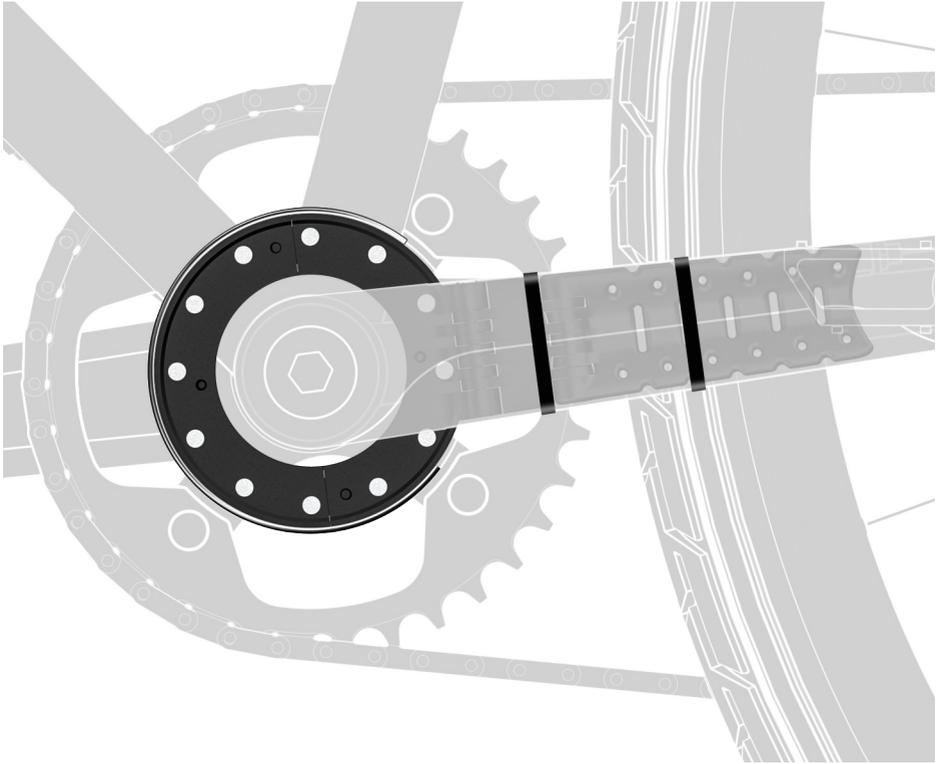
## 7. 固定リングを装着する

7.1 固定リングを磁気ディスクの周囲にはめ込み、2枚を安全に固定します。



## 8. ケーブル縛り紐でアームを固定する

- 8.1 磁気ディスクのアームをペダルアーム内側に固定するため、最低2か所をケーブル縛り紐で軽く締め付けてください。



### ご注意

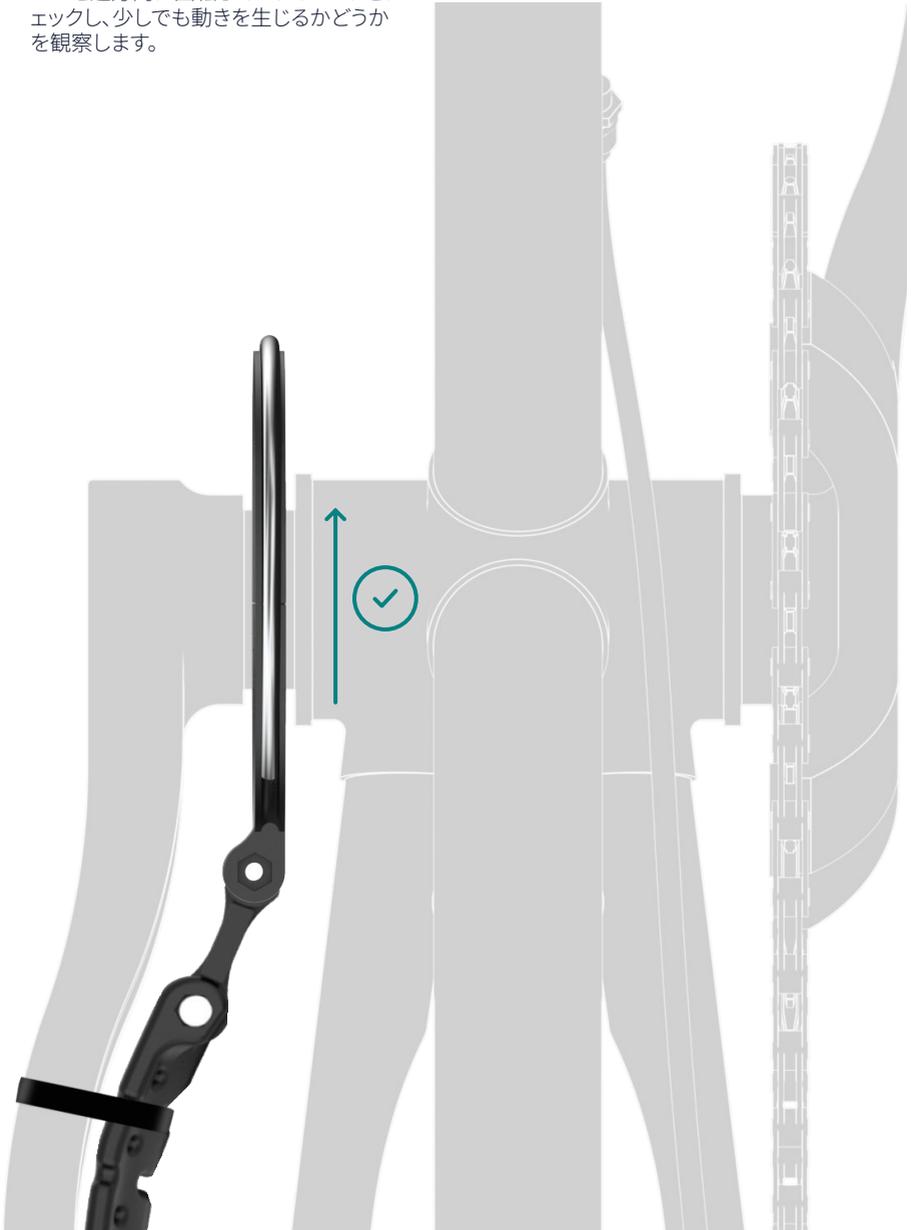
細いペダルアームの場合、穴にケーブル縛り紐を通して締め付け、グリップを高めます。



## 9. アライメントのチェック

9.1 磁気ディスクは、フレームに対して平行を保って動作する必要があります。ペダルアームを逆方向に回転してアライメントをチェックし、少しでも動きを生じるかどうかを観察します。

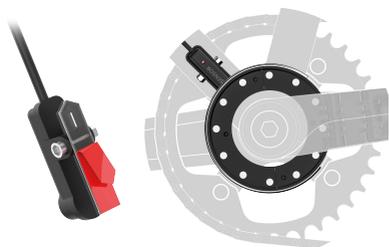
9.2 アライメントが正しいことを確認したら、ケーブル縛り紐とボルトで固定します。



## 10. センサーの位置決め、貼付と固定

10.1 赤いシールをはがし、センサー裏側の粘着面を開きます。

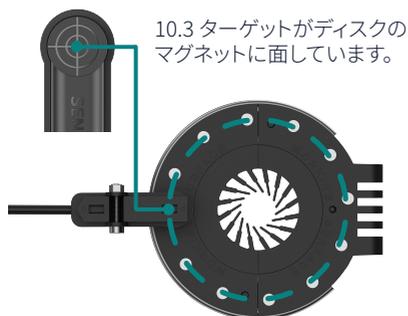
10.2 センサーをダウンチューブまたはシートチューブの側面に貼り付けます。



10.3 センサー中央部の高さがディスクのマグネットと必ず一致するようにしてください。

10.4 センサーの位置が磁気ディスクから3mm以内になるよう、必要に応じて粘着フォームスペーサーを使用します。

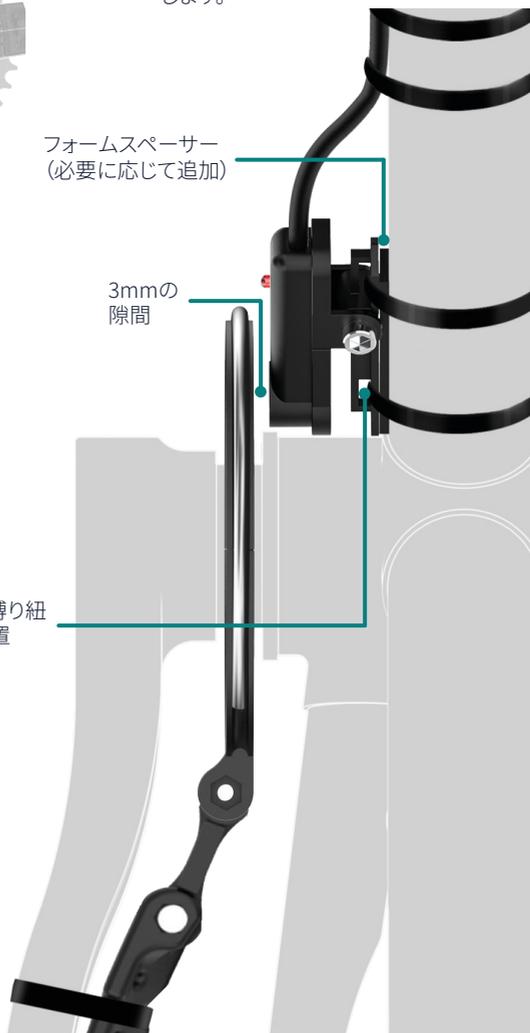
10.5 ボルトを緩め、センサーの角度を調整してから締め付けてケーブル縛り紐で固定します。



フォームスペーサー  
(必要に応じて追加)

3mmの  
隙間

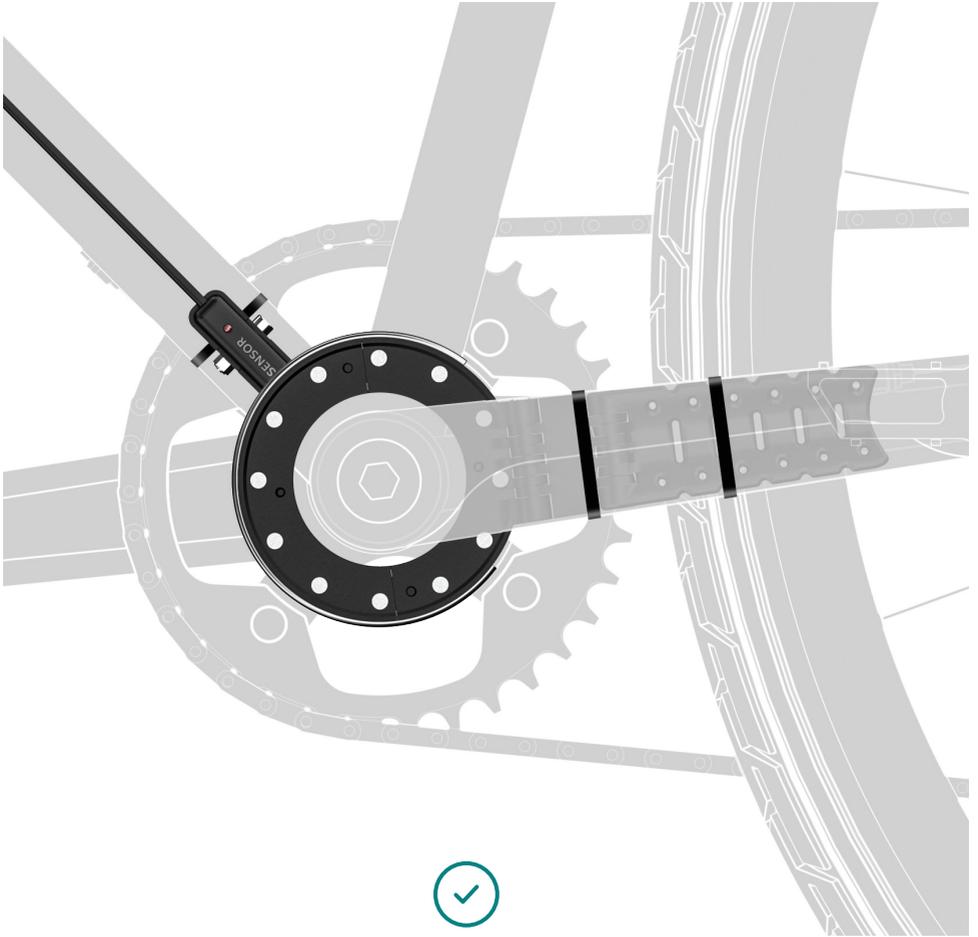
ケーブル縛り紐  
を通す位置



### ご注意

十分なスペースがない場合は、プラスチックのヒンジ部をセンサーから取り外し、ケーブル縛り紐で直接取り付けます。それで保証が無効になることはありません。

## 11. 終了



## 一体型センサー



標準的なクランク(例:スクエアテーパー)用の一体型センサーです。ペダルアームを取り外し、装着後に再度取り付ける必要があります。また、ボトムブラケットには20歯スプラインが必要です。

### 必要なもの:

8mmの六角棒レンチまたは14mmソケット

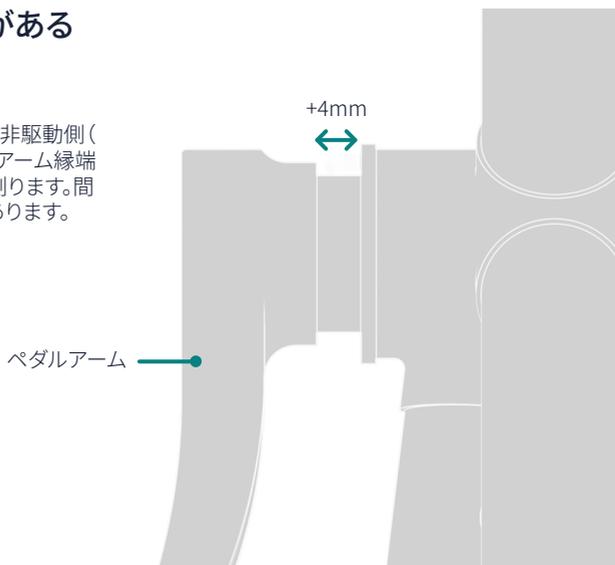


クランクエクストラクター



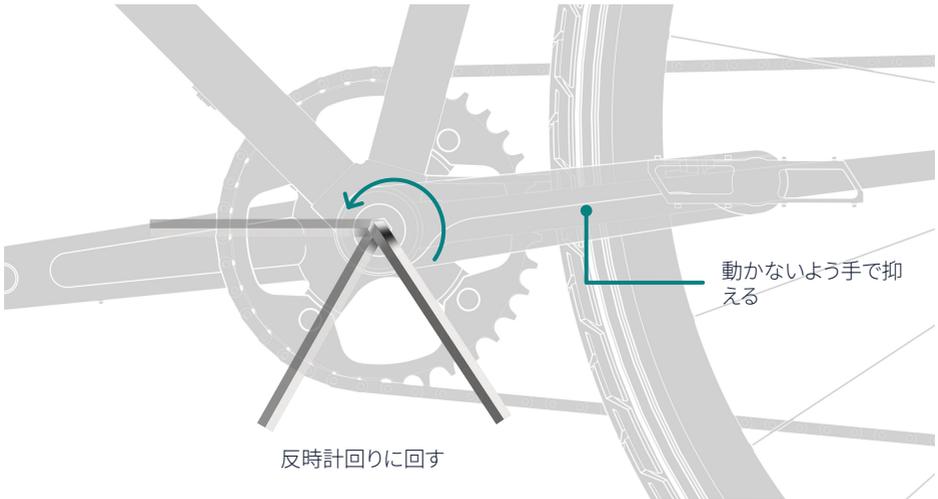
## 1. 装着するスペースがあるかどうか確認

- 1.1 測定定規を使って、自転車の非駆動側(チェーンと反対側)のペダルアーム縁端と自転車フレームの隙間を測ります。間隔は**4mm**を上回る必要があります。



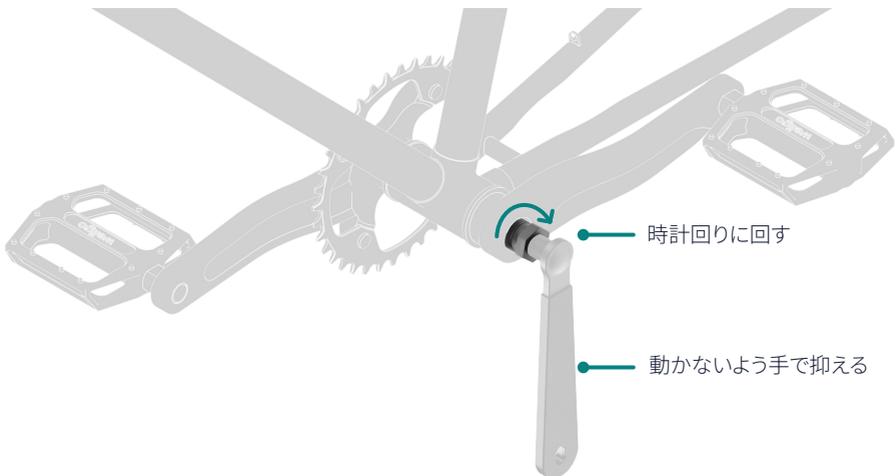
## 2. クランクアームのボルトを緩める

- 2.1 六角棒レンチまたはソケットでボルトをクランクから取り外します。作業はチェーンと反対側で行います。



## 3. クランクエクストラクターのボルトを締め付ける

- 3.1 クランクエクストラクターのボルトを時計回りに回し、しっかり締め付けます。クランクが動かないよう、もう一方の手で抑えます。

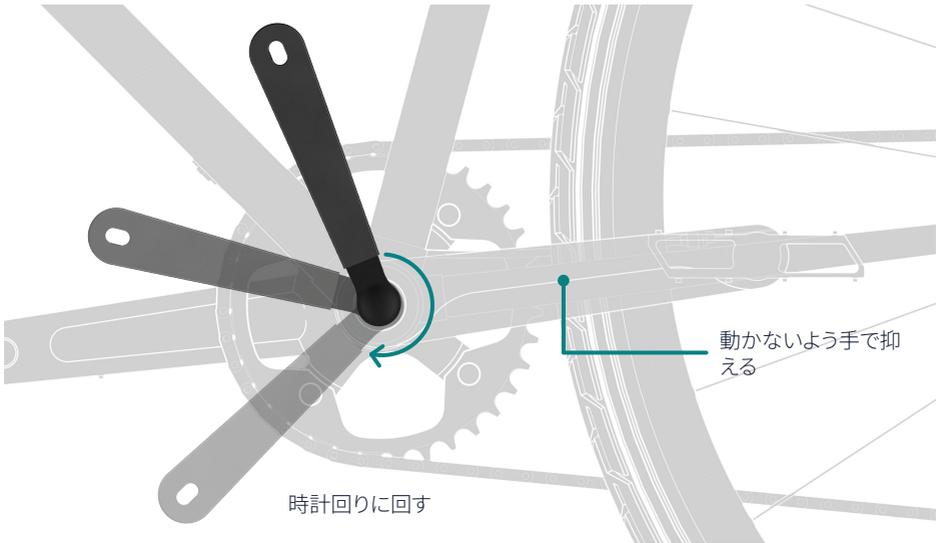


## 4. エクストラクターを回してクランクアームを取り外す

- 4.1 クランクエクストラクターのハンドルを時計回りに回してアームを取り外します。

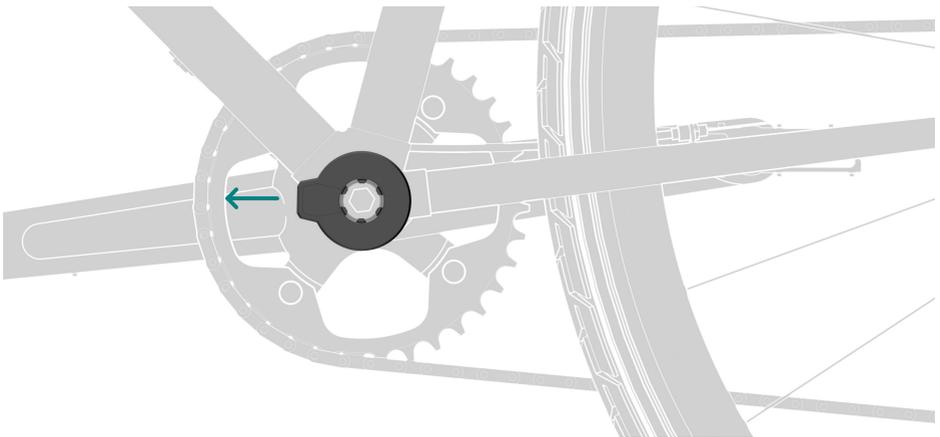
### ご注意

これを回すにはかなりの力が必要  
なことがよくあります。



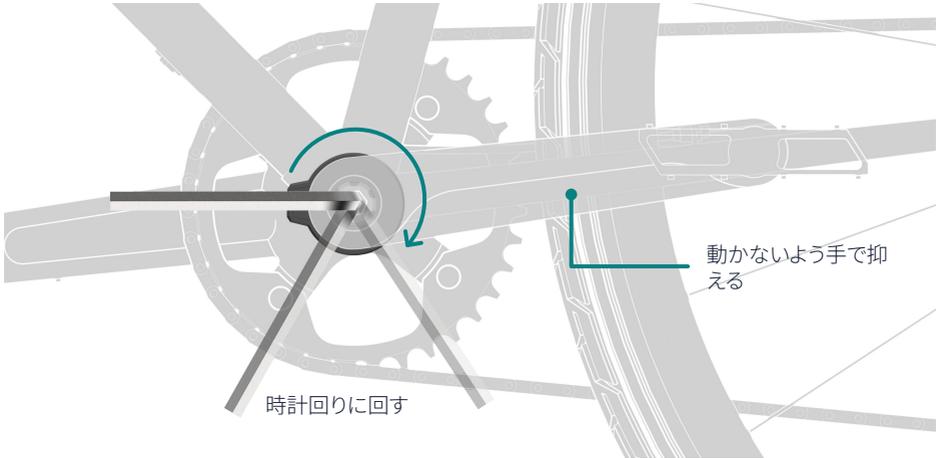
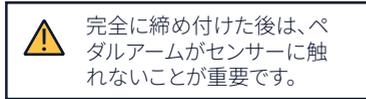
## 5. 一体型センサーを取り付ける

- 5.1 一体型センサーをボトムブラケットのシャフトに完全に滑り込ませます。ケーブル接点は必ず左側、フレーム方向を向くようにしてください。

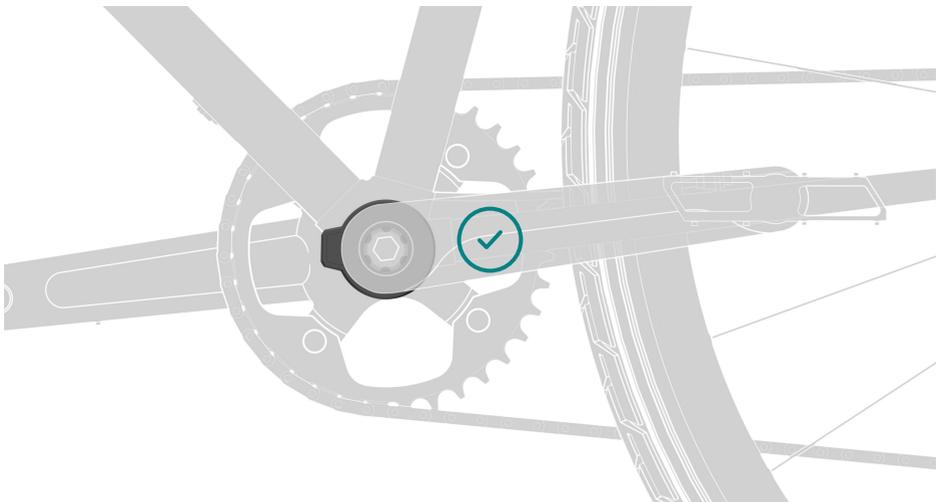


## 6. クランクを再度取り付ける

- 6.1 クランクを再び取り付ける正しい位置を特定し、元通りはめ込みます。
- 6.2 ボルトを再び差し込み、メーカーの締付トルク仕様に従って六角棒レンチで締め付けます。



## 7. 終了





## マウント

マウントは、キットの頭脳の役割を果たし、それぞれ機能の違う6本のケーブルを備えています。

### ご注意

マウントには、ディスプレイなしで操作するためのディスプレイ不使用ドングルとスロットルキャップを装着してお届けします。ディスプレイまたはスロットルをご購入の場合、ドングルまたはキャップを外してディスプレイ/スロットルに差し込むだけで使用できます。



### ご注意

カーボン製ハンドルバーの場合、クリップオンTTバーなどの付属品を取り付けることが可能かどうか、メーカーのマニュアルを確認してください。

ハンドルバー用ブラケットは、自転車の構造によって3種類の高さに取り付けることができます。



1. 標準の取付位置



2. 高い取付位置



3. 安全な取付位置  
(ネジが隠れる)

## 1. 適切なスペーサーのサイズを選択する

1.1 スペーサー不使用の場合、ブラケット径は31.8mmです。

ハンドルバーに取り付けるブラケットに緩みがある場合、しっかり固定できるスペーサーを選びます。

上下2個の半円形スペーサーの間には、わずかな隙間が必要です。

スペーサーのオプション：



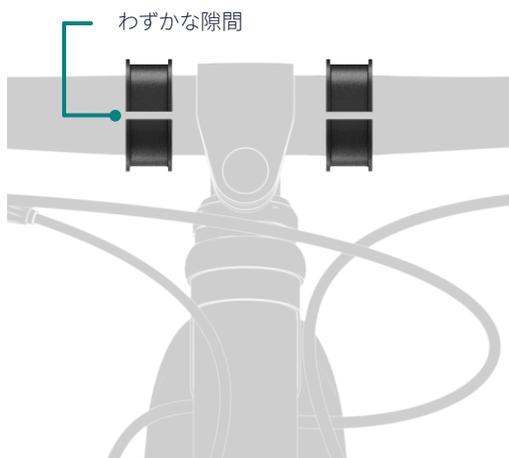
● 22.2mm



●● 25.4mm



●●● 26mm



×  
きつ過ぎる



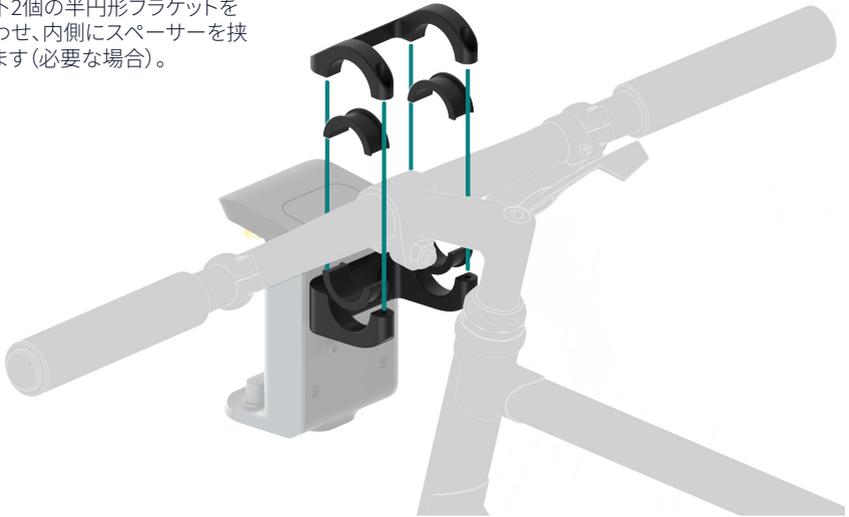
×  
ゆる過ぎる



✓  
わずかな隙間

## 2. ブラケットを組み立てる

- 2.1 上下2個の半円形ブラケットを合わせ、内側にスペーサーを挟みます(必要な場合)。

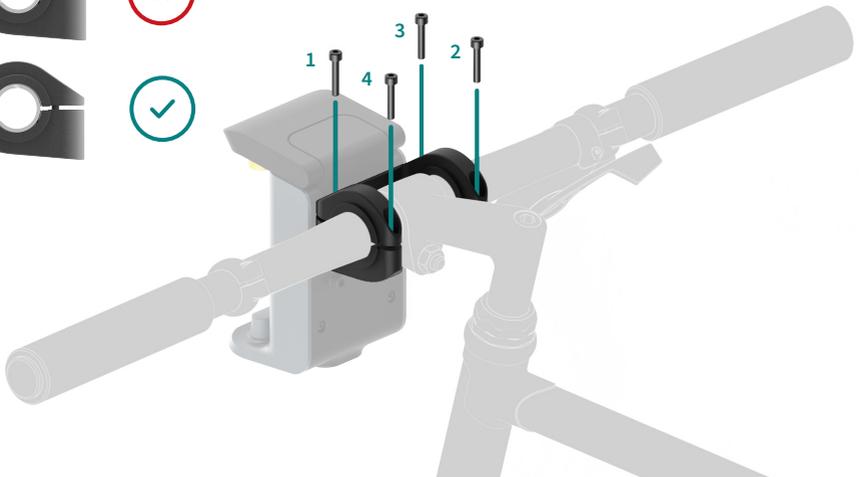


## 3. 組立部品をネジで留める

- 3.1 マウントを正しい位置に安全に固定するため、上下2個のブラケットを3mmの六角棒レンチで締め付けます。半円形の両側は、必ず均等に締め付けてください。

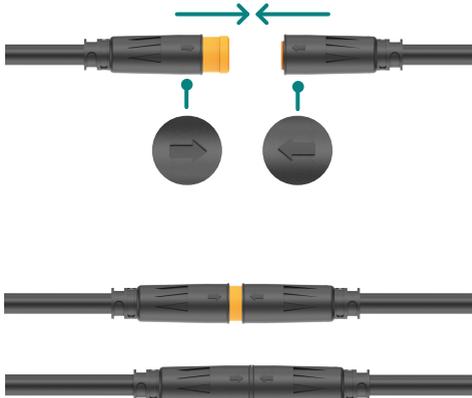
### ご注意

ネジの締め付トルクは、2~3Nmに設定してください。サポートには、マニュアルの [swytchbike.com/manual/3nm/](http://swytchbike.com/manual/3nm/) をご利用ください。



## 4. ペダルセンサーをマウントに接続する

- 4.1 防水仕様のコネクタを接続するには、両コネクタの矢印を一行に揃えます。矢印が並んだら、色が見えなくなるまでしっかり押し込んでください。



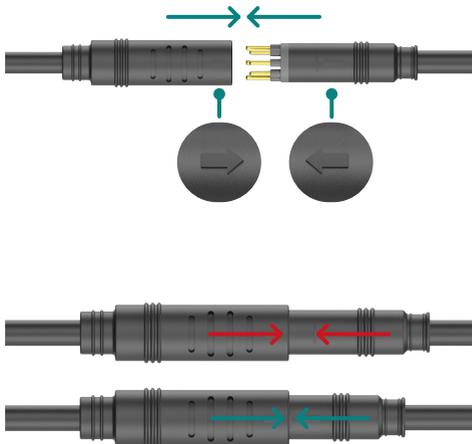
色が見える



色が見えない

## 5. モーターケーブルをマウントに接続する

- 5.1 防水仕様のコネクタを接続するには、両側の矢印を揃えてから、2つの矢印が並んで触れ合うまで押し込んでください。



矢印が揃っていない



矢印が揃っている

## 6. ケーブルの配線経路

- 6.1 可能な場合は、ご自分の自転車に既存の配線経路に従ってください。



## 7. ケーブルを固定する

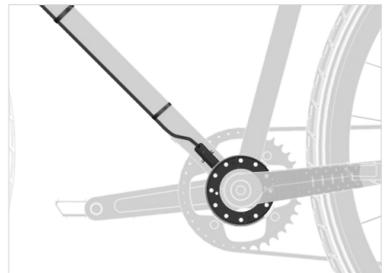
- 7.1 付属のケーブル縛り紐で、すべてのケーブルを自転車のフレームに安全に固定します。ただし、ハンドルバーを操作できる程度の緩みを残してください。



ケーブル配線は、決して自転車の駆動列、ステアリング、ペダリングに影響を与えないようにしてください。



モーターケーブルは、自転車のフォークに安全に固定します。



ペダルセンサーケーブルは、自転車のダウンチューブ下側に安全に固定します。

### ご注意

ケーブルの余分な長さは巻き取ってループを作り、フレームに安全に留め付けます。

# 電源パック

Swytch AIRの電源パックです。リチウムイオンバッテリーを内蔵し、エネルギーをキットに供給します。

Swytch AIRの電気容量は、以下の2種類です：  
AIR 90Wh、MAX 180Wh



バッテリーボタンを押すとLEDが点灯し、バッテリー残量をパーセントで表示します。充電が完了すると、ライト5個が点灯します。



バッテリーには危険物質が含まれています。分解したり、衝撃を与えたり、水に浸したりしないでください。それで保証が無効になります。



この電源パックは、気温が-10°C以下または40°C以上の場所に置かないでください。

# 1. 電源パックを接続する

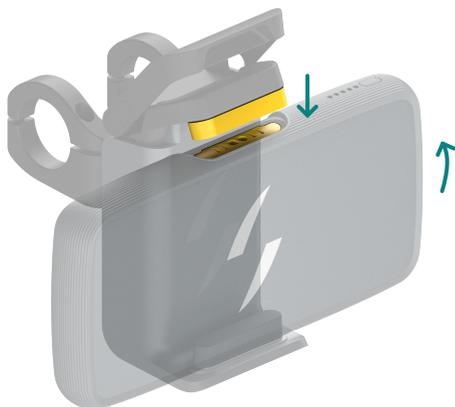
1.1 マウントの取っ手を持ち上げて完全に開きます。



1.2 電源パックの底面をマウントのアライメントブロックにはめ込みます。



1.3 それから電源パックを立て直し、黄色のコネクター同士が重なるように揃えます。



1.4 マウントの取っ手を押し込み、完全に咬み合わせます。接続すると、電源パックのライトが点灯します。



## ご注意

時間の経過に従ってマウントの取っ手が大幅に緩くなるケースが稀に生じた場合、弊社チームにご連絡いただければ調整方法をアドバイスいたします。



マウントに接続する前に、コネクター部分が完全に乾燥していることを確認してください。



マウント機構の内部には、何も入り込まないようにしてください。

# 3

## 自分のキットを理解する

走行を始める

充電

メンテナンス

# 走行を始める

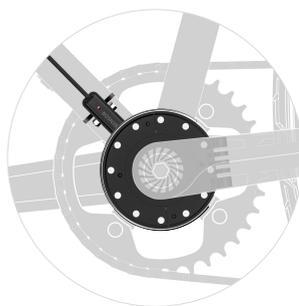
- 1.1 走行を始めるには、まずすべてのケーブルを完全に接続し、ペダルセンサーを正しく装着したことを確認してください。

- 1.2 電源パックをマウントに装着すると、LEDが点灯して電源がオンになったことを表示するはずですが。

- 1.3 ペダルを踏み始めると、ペダルセンサーが点滅してパワーが入ってきます。

## ご注意

オプションのディスプレイに接続した場合、この説明は若干異なります。さらに詳しくは、ディスプレイの説明書を参照してください。



## ご注意

走行を終了するには、マウントを開いて接続を解除し、電源パックを取り外すだけがかまいません。



# 充電

- 1.1 充電器のケーブルをコネクタースポートに差し込みます。



長時間充電中そのまま放置しないでください。



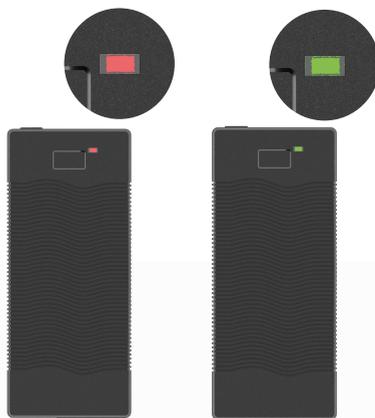
バッテリーの充電には、付属の充電器のみをご使用ください。



バッテリーを長期間保管する場合、あらかじめ完全に充電してからボタンを押してバッテリーをオフにします。

バッテリーの寿命を維持するため、90日ごとに充電してください。

- 1.2 電源パックの充電が完了すると、充電ブロックのライトが赤から緑に変わりますので、プラグを抜いてください。



# メンテナンス

間隔 (いずれか早い方)	Swytchキット	自転車
毎回走行のたびに	電源パックの再充電  ブレーキセンサー装着時は正常な作動を点検	タイヤ空気圧  タイヤに食い込む破片・トゲなどの確認  ブレーキの確認
毎月  20時間使用ごと  500マイル走行ごと	冬場の保管前にバッテリーを追加充電  モーターホイールのナットの締付を確認  ペダルセンサーが正しい位置にあることを確認	ブレーキの調整  チェーンの注油  タイヤの摩耗部分を探す
6か月ごと  100時間使用ごと  3,000マイル走行ごと	モーターホイールのスポークテンション点検  モーターとセンサーのコネクタ点検  スロットルとペダルセンサーの正常な作動を確認  電源パックの損傷を点検  マウントの損傷を確認	駆動部品の念入りなクリーニング  リムに歪みがなく、不規則な揺れがないことを確認

Swytch Technology Ltd,  
Unit 2A  
455 Wick Lane  
London  
E3 2TB

スキャンしてSwytchヘルプ  
センターをご利用ください。

